

史跡中里貝塚デジタルコンテンツ等の構築および運用支援業務委託 プロポーザル概要書

1. 事業の目的

地中に眠る巨大貝塚「中里貝塚」を、高精細CG等によって復元した映像等で可視化することで、史跡の本質的価値や魅力をわかりやすく伝え、史跡と本史跡を育んだ北区への興味関心の喚起、また郷土愛の醸成を図る。そして史跡を活かしたまちづくりおよび、史跡の将来への確実な継承につなげる。

2. 史跡の概要

国史跡中里貝塚は、北区上中里二丁目に広がる日本最大規模の貝塚である。貝層の分布範囲は、長さ600～700m、幅100m以上に及び。これまでの発掘調査で、800年にわたって、資源管理を行ないながら干し貝づくりをしていた水産加工場であったことが判明している。

干し貝は縄文人の調味料であり、貴重な塩分摂取源として重宝されたとみられている。生産された干し貝は遠隔地へと運ばれ、時には物々交換などをして、海浜にある当地域では入手しがたい食材や道具の素材などの入手活動に供されたと考えられている。

中里貝塚は、縄文時代の生業や分業、社会の仕組みを知るうえで重要とのことから、平成12年(2000)に国史跡に指定された。史跡指定地は現在、「上中里二丁目広場」「中里貝塚史跡広場」の2か所に分かれており、当地にて貝塚を地下保存している。「保存活用計画」「整備基本計画」では、この2つの指定地と、北区飛鳥山博物館の3地点を有機的につなぎ、総合的な活用を図ることとしている。



中里貝塚3つのエリア



貝塚の広がり と 2つの史跡指定地 (赤色：貝層が厚く堆積する範囲、緑色：貝層の堆積が薄くなっていく範囲)

3. 事業期間

令和8年8月上旬から令和9年3月31日（水）

4. 業務内容

中里貝塚史跡広場および上中里二丁目広場内の「案内板」「展示解説板」等に貼付の二次元コードを、利用者が持参したスマートフォンやタブレット、GIGA スクール端末で読み取ると、そこで展開された縄文人の暮らしや環境が体感できるとともに、動画等で楽しく史跡のことを知ることができ、コンテンツ等をブラウザ方式で制作する。またそれらのコンテンツ等一式を集約した公開サイトを制作し、来年度の運用開始に備える。

[業務内容（詳細）]

1) 映像番組およびコンテンツの素材となる高精細CG等の作成

①中里貝塚および周辺の景観復元

周辺地形、地図データおよび発掘調査の内容から、中里貝塚および周辺の景観を復元し、三次元モデルを制作する。

②中里貝塚出土遺構の復元

貝層や貝処理施設など、中里貝塚を特徴づける遺構の出土状態（貝殻や土器片、焼礫等の遺物含む）を、調査写真や図面等から復元し、三次元モデルを制作する。

③中里貝塚における暮らしの復元

調査成果をもとに、中里貝塚で行われていた干し貝づくりの様子を3DCG等で映像化する。

2) デジタルコンテンツの制作

①史跡体感プログラムの制作

中里貝塚史跡広場および上中里二丁目広場にて、史跡を感じ、深く理解するためのデジタルコンテンツを制作する（展開位置は、「【参考】史跡体感プログラムの展開位置」参照）。

a) 古環境を知る 2地点

解説板の二次元コードを読み取って、現地で端末をかざすと、中里貝塚形成時の古環境を体感することができるもの。

VR技術を使用し、GPS等により現在地や画面の動きと連動した復元映像で、縄文時代の景観が体感できることが望ましいが、本制作目的を達成でき、かつ現地性が担保されるものであれば、代替技術での制作を妨げない。

手法：VRまたは同等以上のシステム

内容：a-1) バードビュー：空から史跡や史跡周辺をながめる。

a-2) カヌービュー：沖合から浜辺をながめる。

b) 縄文人の暮らしを知る 2地点

解説板の二次元コードを読み取って、現地で端末をかざすと、干し貝づくりにまつわる縄文人の様子を見ることができるもの。

VR技術を使用し、GPS等により現在地や画面の動きと連動した復元映像で、縄文人の活動の様子が体感できることが望ましいが、本制作目的を達成でき、かつ現地性が担保されるものであれば、代替技術での制作を妨げない。

手法：VRまたは同等以上のシステム

内容：b-1) 貝類採取の様子

b-2) 貝処理（むき身～貝殻廃棄）の様子

C) 地下に眠る遺跡をのぞく 3地点

解説板の二次元コードを読み取って、現地で端末をかざすと、地下に眠る遺跡の様子をのぞきみることができるもの。

AR技術を使用し、GPS等により現在地や画面の動きと連動した画像で、地下遺構の様子が実感できることが望ましいが、本制作目的を達成でき、かつ現地性が担保されるものであれば、代替技術での制作を妨げない。

手法：ARまたは同等以上のシステム

内容：c-1) 地点によって厚みが異なる貝層の様子

c-2) 分厚く貝殻が堆積する貝層の様子

c-3) 木枠付土坑（貝処理施設）の様子

②中里貝塚映像番組および静止画動画の制作

調査写真や既存のマンガ「北区中里貝塚STORY」、本委託における制作物等を使用して、中里貝塚を紹介する番組および動画を制作する。

a) 映像番組（5分程度）

b) マンガ「北区貝塚STORY」の静止画動画（CHAPTER別計5本および統合版1本）

③デジタルポイントラリーの制作

中里貝塚にまつわるエリア3か所（北区飛鳥山博物館、中里貝塚史跡広場、上中里二丁目広場）を有機的につなぐためのポイントラリーを制作する。

3) 公開サイトの制作

本委託にて制作したデジタルコンテンツの公開用サイトを制作する。

4) 条件等

- ①「史跡体感プログラム」の制作において、3DCG等の動画を活用して制作を行なう場合、再生時間は1本につき2分程度に収めること。
- ②公開サイトは、発注者が指定するサーバーを介した運用を考慮して制作を行なうこと。
- ③維持費および更新費用を抑えることが可能な構成とすること。
- ④本コンテンツで使用する文言や漢字表記等については、小学6年生が理解できるものとする。
- ⑤利用の案内、解説等の説明文の表記は、日本語・英語・中国語（簡体字）・韓国語に対応したものとすること。
- ⑥東京都北区教育委員会が指定する有識者による学術的監修のもと、制作を行なうこと。
- ⑦制作したデジタルコンテンツは、3)における公開サイトにて公開するとともに、デジタルデータを業務報告書に添えて提出すること。なお公開サイトにおける公開前に、デジタルコンテンツ一式的操作講習会等を行うこと。

【参考】史跡体感プログラムの展開位置

